

都市再生整備計画 モニタリングシート  
善光寺表参道地区

平成25年12月

長野県長野市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	長野市		地区名	善光寺表参道地区		面積	243			
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施予定時期	平成26年度	モニタリング実施時期	平成25年度	交付対象事業費	10,670,300,000	国費率	4/10			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	事業名 道路(長野大通り自転車道、市道長野西87号線、市道長野西203号線外四線、長野停車場線歩道整備、長野駅善光寺口広場)、地域生活基盤施設(権堂駅駐輪場、耐震性貯水槽)、高質空間形成施設(市道長野大通り線歩道整備、長野駅善光寺口公衆トイレ、長野駅善光寺口エスカレーター、障害者誘導施設整備)、高次都市施設(新長野市民会館、長野駅善光寺口人工地盤、長野駅善光寺口地下通路)				事業進捗の状況(順調か、遅れているか) 事業は概ね計画どおりに進捗している。						
		提案事業	老朽案内板除却、駅舎修景施設整備、高速バス乗降所整備、自由通路整備、市民文化創造活動センター、アートマネジメントセンター、善光寺表参道景観づくり推進、歩行者用公共案内標識計画検討、新市民会館運営計画策定ニーズ調査、表参道ふれ愛通り活用推進				事業は概ね計画どおりに進捗している。						
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業	道路(中央通り歩行者優先道路化、千才町通りふれあいの道整備)、地域生活基盤施設(緑町広場)、高質空間形成施設(北八幡川親水整備)、高次都市施設(長野大通り歩行者デッキ)			<ul style="list-style-type: none"> <li>中央通り歩行者優先道路化:高質空間形成施設に変更したため。</li> <li>千才町通りふれあいの道整備:計画期間内の整備が困難なため。</li> <li>緑町広場:計画期間内の整備が困難なため。</li> <li>北八幡川浸水整備:社会資本総合整備計画の「水の安全・安心基盤整備」分野に位置づけたため。</li> <li>長野大通り歩行者デッキ:「新長野市民会館」の計画地変更のため。</li> </ul>			影響なし				
		提案事業	文化芸術資料情報センター			・アートマネジメントセンターに事業を統合			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道長野西62号線外一線、権堂みち空間整備)、地域生活基盤施設(表参道長野五輪メモリアルパーク、長野駅自由通路観光情報案内板、歩行者用案内標識整備)、高質空間形成施設(中央通り歩行者優先道路化、野外彫刻ながのミュージアム)、高次都市施設(権堂地区市民交流施設整備事業、長野市観光情報センター再整備)			<ul style="list-style-type: none"> <li>市道長野西62号線外1線及び権堂道空間整備:安心して歩ける歩行環境の整備を図るため。</li> <li>表参道長野五輪メモリアルパーク、歩行者用案内標識整備及び野外彫刻ながのミュージアム:まちの回遊性の向上を図るため。</li> <li>長野駅自由通路観光情報案内板:観光客増加とリピーター確保を図るため。</li> <li>中央通り歩行者優先道路化:道路事業から高質空間形成施設に変更したため。</li> <li>権堂地区市民交流施設整備事業:賑わいの再生の実現を図るため。</li> <li>長野市観光情報センター再整備:観光客増加と滞在時間の延長を図るため。</li> </ul>			影響なし				
		提案事業	観光利便性向上事業、市民交流スペース整備、育児支援スペース整備、権堂地区市民交流広場、街角に音楽があるまちづくり事業			<ul style="list-style-type: none"> <li>観光利便性向上事業:観光利便性の向上を図るため。</li> <li>市民交流スペース整備:快適なロビー空間を創出するため。</li> <li>育児支援スペース整備:親子での外出を支援するため。</li> <li>権堂地区市民交流広場:市民交流の促進を図るため。</li> <li>街角に音楽があるまちづくり事業:まちの賑わいを創出するため。</li> </ul>			影響なし				
	交付期間の変更	当初	平成22年度～26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	平成 年度 ～ 年度											

	指標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標 達成見込み	総合所見	今後の対応方針
	指標1	指標2		基準年度	目標年度	計測年度	計測年度					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	歩行者・自転車数(権堂町後町)	人/日	19,070	H21	19,000	H26	15,963	H24	あり ● なし	測定当日の大雨の影響により期待した実績値が得られなかったが、目標達成を見込んでいる。	各事業を推進し、効果を確認する。
	指標2	長野市民会館の利用者数	人/年度	107,391	H21	240,700	H27	—	—	あり ● なし	長野市民会館が完成しないと評価できない。	長野市民会館にかかる事業を推進する。
	指標3	地区のまちづくりに対する満足度	ポイント	63	H21	68	H26	63	H25	あり ● なし	計画事業の多数が事業中であり効果は発現していない。	各事業を推進し、効果を確認する。。
	指標4									あり ● なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標 達成見込み	総合所見	今後の対応方針
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
			市民アンケート等によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 市民アンケート等の実施により確認する。	
	住民参加プロセス		長野市民会館市民ワークショップ、表参道ふれ愛通り推進委員会ワークショップ、善光寺表参道景観研究会ワークショップ				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				● 長野市民会館WSはH25をもって目的を達成した。また、表参道ふれ愛通り推進委員会WS及び善光寺表参道景観研究会WSについては引き続き活動を継続する。	
持続的なまちづくり体制の構築		—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				—		
6)モニタリングの所見	総合所見	順調 ● 要改善	・事業は概ね計画どおりに進捗している。				今後の事業の改善点		・権堂イーストプラザ及び長野駅善光寺口バスシェルターの整備を追加 ・権堂駅駐輪場の削除			

# まちづくり交付金 モニタリングシート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

## (4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

## (6) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		長野市民会館利用者数 284,000人	長野市民会館利用者数 240,700人	「新長野市民会館」の実施設計を行い、施設配置を検討した結果、利用定員が減少したため目標値を変更
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											(単位:百万円)		
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み		
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成			
道路	中央通り歩行者優先道路化	700	L=700m			平成25年2月に計画変更して削除 実施設計結果、高質空間施設とし ての機能を強化したため、一部を高 質空間形成施設に変更。その後、 高質空間形成施設に変更。	影響なし	—	—	—			
道路	千才町通りふれあいの道整備	40	L=130m			平成24年3月に計画変更して削除 地元意向の変化により計画期間内 の整備が困難なため事業を削除	指標1及び3に関連するが指標及び数値目 標は据え置く	—	—	—			
道路	長野大通り自転車道	50	L=1,600m	20	L=1,600m	事業内容の精査及び入札差金によ り事業費を減額	影響なし		●		H25完成に向け事業推 進		
道路	市道長野西87号線	45	L=210m	30	L=210m	事業内容の精査及び入札差金によ り事業費を減額し事業期間を変更	影響なし			●	H23完成		
道路	市道長野西203号線外四線	25	L=440m	25	L=440m	なし	—		●		一部区間において事業 難航(期間変更予定)		
道路	長野停車場線歩道整備	20	L=90m	20	L=90m	なし	—			●	H22完成		
道路	市道長野西62号線外一線			21	L=150m	平成24年3月に計画変更して追加 周辺建物に併せ石畳風の舗装化を 実施し安心して歩ける歩行環境を 整備するため事業を追加	指標1及び3に関連するが指標及び数値目 標は据え置く		●		H26完成に向け事業推 進		
道路	権堂みち空間整備			14	L=200m	平成25年2月に計画変更して追加 周辺建物に併せ石畳風の舗装化を 実施し安心して歩ける歩行環境を 整備するため事業を追加	指標1及び3に関連するが指標及び数値目 標は据え置く		●		H26完成に向け事業推 進		

事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路(街路)	長野駅善光寺口広場	1,130	6,800㎡	1,130	6,800㎡	なし	—		●		H26完成に向け事業推進(期間変更予定)
地域生活基盤施設(広場)	緑町広場	150	5,300㎡			平成25年2月に計画変更して削除 実施設計の結果、計画期間内の整備が困難なため事業を削除	指標1及び3に関連するが指標及び数値目標は据え置く	—	—	—	
地域生活基盤施設(広場)	表参道長野五輪メモリアルパーク			15.5	207㎡	平成23年2月に計画変更して追加 市民や観光客等の休憩場所となる 広場を整備し、人々が歩いて楽しめる 空間を創出するとともに、まちの 回遊性の向上を図るため事業を追加	指標1及び3に関連するが指標及び数値目標は据え置く			●	H23完成
地域生活基盤施設(自転車駐輪場)	権堂駅駐輪場	648	810㎡	648	810㎡	「新長野市民会館」の建設地を変更 したことに伴い、市街地再開発事業 の実施時期を見直したため事業期 間を変更	影響なし	●			計画変更予定
地域生活基盤施設(情報版)	長野駅自由通路観光情報案内板			35	5箇所	平成25年10月に計画変更して追加 観光情報提供媒体として駅自由通 路にデジタルサイネージと観光案 内版を整備し、観光客増加とリピー ター確保を図るため事業を追加	指標1に関連するが指標及び数値目標は据え置く	●			H26着手予定
地域生活基盤施設(情報版)	歩行者用案内標識整備			40	40基	平成25年10月に計画変更して追加 歩行者用公共案内標識計画検討に おいて計画を策定したため、標識整 備を追加	指標1及び3に関連するが指標及び数値目標は据え置く	●			H26着手予定
地域生活基盤施設(地域防災施設)	耐震性貯水槽	15	1基	30	2基	長野駅前広場の利用者が安心して 利用できる環境を整備するため事 業量、事業費を増加	指標3に関連するが指標及び数値目標は据え置く		●		H25完成に向け事業推進
高質空間形成施設	北八幡川親水整備	115	L=150m			平成23年2月に計画変更し削除 社会資本総合整備計画の「水の安 全・安心基盤整備」分野に位置付け たため関連事業に変更	影響なし	—	—	—	
高質空間形成施設	市道長野大通り線歩道整備	200	L=1,300m	200	L=1,300m	なし	—		●		H26完成に向け事業推進
高質空間形成施設	長野駅善光寺口公衆トイレ	100	2箇所	100	2箇所	なし	—		●		H26完成に向け事業推進(期間変更予定)
高質空間形成施設	長野駅善光寺口エスカレーター	240	2基	371	3基	駅利用者の利便性向上を図るため 事業量、事業費を増加	指標1及び3に関連するが指標及び数値目標は据え置く		●		H26完成に向け事業推進
高質空間形成施設	障害者誘導施設整備	10	1式	10	1式	実施設計の結果、事業期間を変更	影響なし	●			H26着手予定

事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
高質空間形成 施設	中央通り歩行者優先道路化			748.4	L=700m	平成22年9月に計画変更して追加 実施設計の結果、高質空間形成施 設としての機能を強化したことか ら、道路事業から変更。その後、冬 季間の施工ができない特殊工法の ため事業期間を延長し、併せて、夜 間の交通規制に伴う保安員の配置 により事業費を増加	影響なし		●		H26完成に向け事業推 進
高質空間形成 施設	野外彫刻ながのミュージアム			60	10箇所	平成22年12月に計画変更して追加 彫刻等を設置し、人々が歩いて楽 しめる歩行空間を創出し、まちの回 遊性の向上を図るため事業を追加。 その後、更なる向上を図るため事 業量、事業費を増加	指標1及び3に関連するが指標及び数値目 標は据え置く		●		H26完成に向け事業推 進
高次都市施設	新長野市民会館	2,954	4,220㎡	2,099.9	10,385㎡	市庁舎との合築で現在地に建設す るため、実施箇所及び事業費を変 更。その後、実施設計により施設配 置を検討した結果、事業量を増加し、 事業費を減額	「新長野市民会館」の実実施設計を行い、施設 配置を検討した結果、利用定員が減少した ため数値目標を284,000人から240,700人に 修正		●		H26完成に向け事業推 進
高次都市施設	長野駅善光寺口人工地盤	310	200	310	200㎡	なし	—		●		H26完成に向け事業推 進(期間変更予定)
高次都市施設	長野駅善光寺口地下通路	1,420	500㎡	1,300	600㎡	移設困難な地下埋設物が確認さ れ、配置等を変更したため事業量 を増加し、事業費を減額	指標1及び3に関連するが指標及び数値目 標は据え置く		●		H26完成に向け事業推 進(期間変更予定)
高次都市施設	長野大通り歩行者デッキ	400	250㎡			平成23年2月に計画変更して削除 「新長野市民会館」と再開発施設 (権堂B-1地区)を結節するもので あったが、「新長野市民会館」の建 設地を変更したことにより事業を削 除	指標1及び3に関連するが指標及び数値目 標は据え置く	—	—	—	
高次都市施設	権堂地区市民交流施設整備事業			330	730㎡	平成24年3月に計画変更で追加 権堂B-1地区市街地再開発事業 (関連事業)と併せて整備し、賑わ いの再生の実現を図るため事業を 追加。その後、実施設計の結果、事 業費を増加し、事業期間を変更	指標1及び3に関連するが指標及び数値目 標は据え置く		●		H26完成に向け事業推 進
高次都市施設	長野市観光情報センター再整備			90	158.7㎡	平成25年10月に計画変更して追加 広域観光案内の充実、二次交通案 内など観光客からのニーズの高い サービスのワンストップ化、高度情 報化に伴う検索システムを充実さ せ、観光客の増加及び滞在時間の 延長を図るため事業を追加	指標1に関連するが指標及び数値目標は据 え置く	●			H26着手予定

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業	老朽案内板除却	9	8基	9	8基	なし	—			●	H22完成
	駅舎修景施設整備	500		1,176.4		歴史的・伝統的建造物の持つ堂々とした姿を現代的に表現し、来訪者を迎入れる門の役割を果たす「大庇・列柱」を整備するため事業費を増加し、事業期間を延長	指標1及び3に関連するが指標及び数値目標は据え置く		●		H26完成に向け事業推進
	高速バス乗降所整備	5		5		なし	—			●	H22完成
	自由通路整備	240	450㎡	639	650㎡	自由通路中央部に計画していたエレベータを自由通路外に移動することによる歩行空間の確保や、駅前広場側の壁面のガラス張り、駅舎側の壁面、天井部の木材使用により、事業量、事業費を増加	指標1及び3に関連するが指標及び数値目標は据え置く		●		H26完成に向け事業推進
	文化芸術資料情報センター	702	1,170㎡			平成25年2月に計画変更し削除「新長野市民会館」に併設する施設であるが、「新長野市民会館」の建設地を変更したことに伴い、施設規模等を見直した。その後、実施設計により運営計画や施設配置を検討した結果、アートマネジメントセンターと一体的に運営することとなりアートマネジメントセンターに事業を統合	影響なし	—	—	—	
	市民文化創造活動センター	1056	1,760㎡	380.3	945㎡	「新長野市民会館」に併設する施設であるが、「新長野市民会館」の建設地を変更したことに伴い、施設規模等を見直した。その後、実施設計により施設配置を検討した結果、事業量を縮小し、事業費を減額	影響なし		●		H26完成に向け事業推進
	アートマネジメントセンター	1032	1,720㎡	368.5	916㎡	「新長野市民会館」に併設する施設であるが、「新長野市民会館」の建設地を変更したことに伴い、施設規模等を見直した。その後、実施設計により、運営計画や施設配置を検討した結果、文化芸術資料情報センターを統合したため事業費が増加	影響なし		●		H26完成に向け事業推進
	善光寺表参道景観づくり推進	6		5.5		誰もが歩きたくなる善光寺表参道の実現を図るため、更に検討が必要となったことから、事業期間を延長するとともに、事業内容の精査により事業費を減額	影響なし			●	H24完成



事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業	歩行者用公共案内標識計画検討	3		3		既存の案内標識等の再調査により整備費を増額。その後、整備計画の策定により整備事業を基幹事業に変更したため事業費を減額	影響なし			●	H25完成
	観光利便性向上事業			4		平成22年12月に計画変更し追加市民及び観光客等の観光利便性の向上を図るため事業を追加。その後、施設整備の具体的な検討の結果、観光情報センターの整備及び観光情報案内板の設置を基幹事業に変更したため事業期間を縮小し、事業費を減額	影響なし			●	H22完成
	市民交流スペース整備			65.5	191㎡	平成23年2月に計画変更し追加市庁舎を訪れる多くの市民の交流の場として、休憩や飲食のほか、市民活動の展示や講演等にも活用できるスペースを整備するため事業を追加。その後、実施設計により施設配置を検討した結果、事業量を縮小し、事業費を減額	影響なし			●	H26完成に向け事業推進
	育児支援スペース整備			3.1	11㎡	平成23年2月に計画変更し追加子育て環境を支援するため、授乳や休憩に加え、一時的な託児機能等も併せ持つ空間を整備するため事業を追加。その後、実施設計により施設配置を検討した結果、事業量を縮小し、事業費を減額	影響なし			●	H26完成に向け事業推進
	権堂地区市民交流広場			290	1,400㎡	平成24年3月に計画変更し追加権堂B-1地区市街地再開発事業(関連事業)と併せ、公共広場を整備するため事業を基幹事業に追加。その後、施行主体を市から再開発組合に変更したため、提案事業に変更するとともに事業期間を変更し、併せて実施設計により事業費を増額	指標1及び3に関連するが指標及び数値目標は据え置く			●	H26完成に向け事業推進
	事業活用調査	新市民会館運営計画策定ニーズ調査	12.5		64.5		「新長野市民会館」の建設地を変更したことに伴い、新たな条件のもとでの運営計画を策定、検討する必要が生じたため、事業費を変更。その後、更に詳細に検討する必要があり事業期間を延長し、事業費を増加	影響なし			●
まちづくり 活動推進事業	表参道ふれ愛通り活用推進	3		4		央通り歩行者優先道路化事業に合わせ、植栽やベンチの配置等の検討を更に行うため、事業期間を延長し、事業費を増加	影響なし			●	H22～H25継続して実施

街角に音楽があるまちづくり事業	4.7	平成24年3月に計画変更し追加街角音楽コンサートを開催しまちの賑わいを創出するため事業を追加	指標1及び3に関連するが指標及び数値目標は据え置く	●	H24～H26継続して実施
-----------------	-----	--	---------------------------	---	---------------

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		
街なみ環境整備事業		善光寺周辺地区	790	790	H13～H22	H13～H27	H27完成予定	
市街地再開発事業		長野駅前A-3地区	2,540	2,858	H19～H22	H19～H22	H22完成	
市街地再開発事業		権堂B-1地区	11,500	4,900	H22～H26	H22～H26	H26完成予定	
新長野市民会館整備		権堂B-1地区	8,221		H22～H26		—	—
長野市役所新庁舎建設		大字鶴賀緑町	5,000	5,404	H22～H25	H22～H26	H26完成予定	
北八幡川親水整備		大字鶴賀緑町		115		H24～H26	事業中止	
後町小学校跡地活用計画策定事業		大字南長野西後町外		0		H22～H26	未着手(着手時期未定)	
セントラルスクエア周辺地区再生調査・検討事業		大字鶴賀問御所町外		0		H22～H26	県庁緑町線沿線地区計画調査に含め検討	
市街地循環バス機能向上事業				80		H24～H24	H24完成	社会資本総合整備計画(長野中心市街地の活性化及び拠点整備)に位置付け
県庁緑町線沿線地区計画調査		大字鶴賀問御所町外		50		H24～H25	H26完成予定(計画変更予定)	社会資本総合整備計画(長野中心市街地の活性化及び拠点整備)に位置付け

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	実施年度	実施年度	あり	なし				
指標1	歩行者・自転車数(権堂町後町)	人/日	長野駅及び善光寺方面から回遊する歩行者数・自転車数			19,070	H21	19,000	H26	15,963	H24	●	測定当日の大雨の影響により期待した実績値が得られなかったが、目標達成を見込んでいる。	各事業を推進し、効果を確認する。
指標2	長野市民会館の利用者数	人/年度	長野市民会館の利用者数			107,391	H21	240,700	H27	—	—	●	長野市民会館が完成しないと評価できない。	長野市民会館にかかる事業を推進する。
指標3	地区のまちづくりに対する満足度	ポイント	善光寺表参道地区のまちづくりの現状に対する満足度(市民アンケートの結果を100ポイント満点で評価)			63	H21	68	H26	63	H25	●	計画事業の多数が事業中であり効果は発現していない。	各事業を推進し、効果を確認する。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	実施年度	実施年度					
その他の数値指標1													
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

--

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
市民アンケート等によるモニタリング	予定どおり実施した	●【実施頻度】 計画期間中1回 【実施時期】 平成25年12月 【実施結果】 各指標について交付期間中の変化を確認することができた。	市民アンケート等により確認する。
	予定はなかったが実施した		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
長野市民会館市民ワークショップ	予定どおり実施した	●【実施頻度】 計55回 【実施時期】 平成22～25年度 【実施結果】 市民会館の施設建設から管理運営方法について、有識者や公募市民の意見を聞いた。	平成25年度をもってワークショップを終了。今後、有志で運営する新組織となり市民活動を継続する予定。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
表参道ふれ愛通り推進委員会による勉強会、ワークショップ	予定どおり実施した	●【実施頻度】 計19回 【実施時期】 平成22～25年度 【実施結果】 中央通りの歩行者優先道路化事業の計画検討及び道路を活用したソフト事業の検討、維持管理方法について検討を行った。	中央通り歩行者優先道路化事業の進捗により、今後、具体的な道路の活用、維持管理方法を検討する。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
善光寺表参道景観研究会による勉強会、ワークショップ	予定どおり実施した	●【実施頻度】 計30回 【実施時期】 平成22～25年度 【実施結果】 善光寺表参道にふさわしいストリートファニチャ等のガイドラインの策定を行った。	策定したガイドラインに基づく、景観形成活動に取り組む。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり交付金検討会議	庶務課、第一庁舎・長野市民会館建設事務局、豊野支所、交通政策課、生活環境課、観光振興課、産業政策課、道路課、河川課、都市計画課、公園緑地課、市街地整備課、まちづくり推進課、駅周辺整備局、教育委員会総務課、生涯学習課、体育課、文化財課、文化芸術推進課、消防局総務課	年1~2回の定期会議、メール等による随時の情報交換を実施	都市計画課(まちづくり交付金主管課)

添付様式4-② 効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3	指標4
指標名		歩行者・自転車数(権堂町後町)	長野市民会館の利用者数	地区のまちづくりに対する満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	長野大通り自転車道	○	歩道、自転車道の整備と道路美化に加え、野外彫刻や五輪メモリアルパークの整備により、まちの回遊性が向上されてきた。今後、長野駅善光寺口広場、中央通り歩行者優先道路化事業、権堂地区市民交流施設、長野市民会館などの完成により、更にまちの回遊性の向上が期待できる。	○	モニタリング段階で市民会館が完成していないので効果を評価することはできない。
	市道長野西87号線	○		○	
	市道長野西203号線外四線	○		○	
	長野停車場線歩道整備	○		○	
	市道長野西62号線外一線	○		○	
	権堂みち空間整備	○		○	
	長野駅善光寺口広場	○		○	
	表参道長野五輪メモリアルパーク	○		○	
	権堂駅駐輪場	○		○	
	長野駅自由通路観光情報案内板	○		○	
	歩行者用案内標識整備	○		○	
	耐震性貯水槽	○		○	
	市道長野大通り線歩道整備	○		○	
	長野駅善光寺口公衆トイレ	○		○	
	長野駅善光寺口エスカレーター	○		○	
	障害者誘導施設整備	○		○	
	中央通り歩行者優先道路化	○		○	
	野外彫刻ながのミュージアム	○		○	
	新長野市民会館	○		○	
	長野駅善光寺口人工地盤	○		○	
長野駅善光寺口地下通路	○	○			
権堂地区市民交流施設整備事業	○	○			
長野市観光情報センター再整備	○	○			
提案事業	老朽案内板除却	○	○		
	駅舎修景施設整備	○	○		
	高速バス乗降所整備	○	○		
	自由通路整備	○	○		
	市民文化創造活動センター	○	○		
	アートマネジメントセンター	○	○		
	善光寺表参道景観づくり推進	○	○		
歩行者用公共案内標識計画検討	○	○			

提案事業	観光利便性向上事業	—	—	—	—	—	—	—
	市民交流スペース整備	—	—	—	—	—	—	—
	育児支援スペース整備	—	—	—	—	—	—	—
	権堂地区市民交流広場	—	—	—	—	—	—	—
	新市民会館運営計画策定ニーズ調査	—	—	—	—	—	—	—
	表参道ふれ愛通り活用推進	○	—	—	—	○	—	—
関連事業	街角に音楽があるまちづくり事業	○	○	—	—	○	—	—
	街なみ環境整備事業	—	—	—	—	—	—	—
	市街地再開発事業(長野駅前A-3地区)	○	—	—	—	○	—	—
	市街地再開発事業(権堂B-1地区)	—	—	—	—	—	—	—
	長野市役所新庁舎建設	—	—	—	—	—	—	—
	北八幡川親水整備	—	—	—	—	—	—	—
	後町小学校跡地活用計画策定事業	—	—	—	—	—	—	—
	セントラルスクエア周辺地区再生調査・検討事業	—	—	—	—	—	—	—
	市街地循環バス機能向上事業	○	—	—	—	○	—	—
	県庁緑町線沿線地区計画調査	—	—	—	—	—	—	—

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
- △：完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
- ×：事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
- ：評価できない。  
  - 未着手又は事業中のため評価できない、
  - 事業と指標とに関係がないので評価できない

今後の方針等	歩行者・自転車空間の整備と拠点施設の整備を推進する。	長野市民会館に係る事業の推進と、文化芸術拠点としてふさわしい管理運営方法を策定する。	本計画の各事業を推進する。	
--------	----------------------------	--	---------------	--

#### (4) モニタリングの所見

##### 添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
「中心市街地活性化基本計画」に位置づけた事業については、堅調に進捗しているが、単体的な事業展開が多いため、市街地活性化の効果が面的な広がりにつながっていない。	・地域住民や商店経営者などとの協働事業により、市民によるまちづくり活動が高まった。 ・歩道、自転車道、道路美装化、野外彫刻、五輪メモリアルパークの整備により、まちの回遊性が向上した。	・歩行者用案内看板の設置など、残された計画事業を確実に完成させる。	なし
商業の活性化と市街地の基盤整備に加え、まちなか居住の促進や都市福利施設の整備、公共交通の利便性向上など社会情勢に対応した総合的なまちづくりが必要となっている。	・歩道整備、自転車道整備、耐震性貯水槽の整備により、安心して快適な市街地の形成が図られた。	・権堂市民交流施設や長野市民会館の整備など、残された計画事業を確実に完成させる。	
平成26年度の新幹線金沢延伸による都市間競争の激化を見据えた魅力あるまちづくりが求められている。	・善光寺表参道にふさわしい景観の形成を図るガイドラインの策定や、歩行者用案内標識の整備計画を策定した。 ・街角に音楽があるまちづくり事業により、まちの活力、文化を創出した。	・長野駅善光寺口広場整備や中央通り歩行者道路優先化事業など、残された計画事業を確実に完成させる。 ・市民活動による文化の創造を推進する。	

##### 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見	今後の事業の改善点		
		具体的項目	内容
順調	●	なし	
計画・事業の進め方の改善が必要	事業の進め方の工夫		
・事業は概ね計画どおりに進捗している。	都市再生整備計画の見直しの必要性	権堂イーストプラザ整備を追加	市民交流及び中心市街地の賑わいと憩いの拠点となる公共広場整備を行う。
		長野駅善光寺口バスシェルター整備の追加	善光寺方面行きバス乗り場のシェルターを他より大きくし、外装材に地元産木材を用いてシンボライズすることにより、市街地回遊の基点として魅力的な駅前広場空間を創出する。
		権堂駅駐輪場の削除	権堂駅周辺の駐輪対策として、再開発事業地内に地下駐輪場を設置する予定であったが、地上部で必要台数が確保できたため事業を削除する。

## (5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット					
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見					
-------	--	--	--	--	--



## (6) 有識者からの意見聴取

### 添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
信州大学工学部土木工学科 高瀬達夫准教授 長野県短期大学多文化コミュニケーション学科 築山秀夫准教授 信州大学工学部建築学科 梅干野成央助教	平成26年2月26日	都市計画課(都市再生整備計画主管課)

有識者の意見	都市再生整備計画評価委員会を開催し意見を聞いた。 【評価委員の意見】 ○文化が都市を牽引する重要な要素で、長野市として文化行政、文化政策をどのように位置付けるかが非常に重要である。 ○まちづくりにおいてソフト事業は非常に効果的であり、今後もソフト事業を持続していくことが重要である。
--------	--